



No.102

# さいばい ニュース

公益財団法人  
神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237  
神奈川県三浦市三崎町  
城ヶ島養老子  
☎046(882)6980  
FAX046(881)2233

## 平成二十八年度事業計画

### マダイ・アワビ・マコガレイなどの 種苗生産・配布・放流事業で県下の海を豊かに

当協会は昭和六十一年に「栽培漁業に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大を図り、漁業の振興と県民生活の向上に寄与する。」ことを目的に設立され、今年で三十年目を迎えることとなりました。



マダイ種苗沖出し

今年度はマダイ、アワビ、クロダイ、マコガレイ種苗の生産を行い、東京湾並びに相模湾への放流、漁業協同組合を始めとする水産団体への供給を行います。さらに、業界の強い要望であるヒラメ種苗などの種苗を入手し放流します。これら当協会の中核事業である種苗生産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

そして、栽培漁業と当協会の活動についての理解と協力が得られるよう、漁業者はもとより広く神奈川県民に対し、東京湾

京湾並びに相模湾への放流、漁業協同組合を始めとする水産団体への供給を行います。さらに、業界の強い要望であるヒラメ種苗などの種苗を入手し放流します。これら当協会の中核事業である種苗生産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

そして、栽培漁業と当協会の活動についての理解と協力が得られるよう、漁業者はもとより広く神奈川県民に対し、東京湾

#### 就任のご挨拶

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会  
理事長 太田 議



太田 理事長

初夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、この度の役員会で、はからずも理事長に選任されました。ここに一言就任のご挨拶を申し上げます。

ご承知の通り、当協会は設立以来、漁業者をはじめ遊漁船業者、遊漁者の皆様、海に関わる企業一般の方々など多くの皆様のご支援をいただき、種苗生産・放流・配布・幹旋などの事業を展開してまいり、マダイに関しては資源増大のモデル県とまでいわれました。

また、私が代表理事を仰せつかっている長井町漁協でも、トラフグ種苗

を放流していただくことにより、成長したトラフグを漁獲対象とした漁業が成り立つようになり、種苗放流の力のすごさを実感しているところであります。

しかし一方で、磯焼けによる餌のカジメが姿を消したことで、サザエやアワビの漁獲量が減少し、例えば長井町漁協の魚市場に水揚げされるサザエが、八年前には百十トンあったものが、昨年は四十五トンに激減しています。しかもこれらの貝は瘦せています。

種苗放流と同時に急務となっているのが環境保

な栽培関連施設の再整備が検討されており、これにより当協会の種苗生産事業の安定化を進めてまいります。

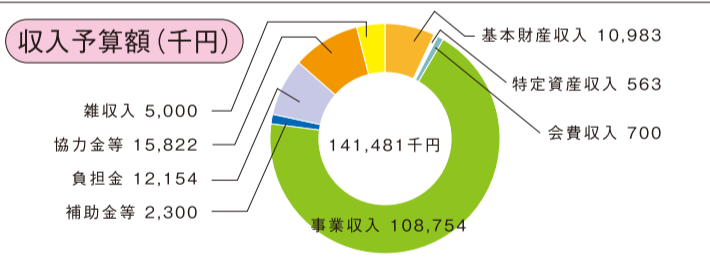
また、昨年に引き続き「太平洋海域栽培漁業推進協議会」において、他県と連携し広域にヒラメ種苗放流事業を展開します。

その一方、事業の執行については、経費の見直しを行い、効率的な協会運営に努めます。

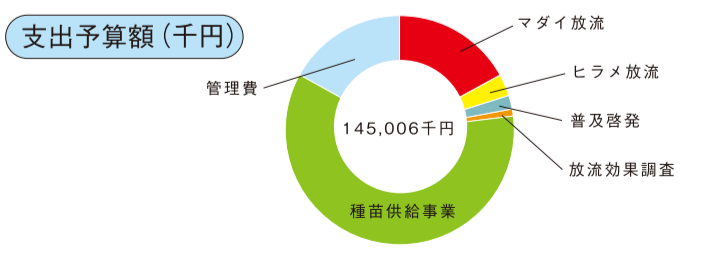
#### 栽培漁業協会 役員が改選

公益財団法人に神奈川県栽培漁業協会は移行して四年目になりました。今年度は、役員任期満了による改選の年です。理事、評議員は、相模

#### 平成28年度予算



科目	予算額(千円)	割合
基本財産運用収入	10,983	8%
特定資産運用収入	563	0%
会費収入	700	1%
事業収入	108,754	77%
補助金等収入	2,300	2%
負担金収入	12,154	9%
協力金等収入	15,822	11%
雑収入	5,000	4%
計	141,481	100%



科目	予算額(千円)	割合
マダイ放流事業	24,444	17%
ヒラメ放流事業	4,365	3%
普及啓発事業	3,017	2%
放流効果調査	2,040	1%
種苗供給事業	86,770	60%
管理費	24,370	17%
計	145,006	100%

#### 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会 役員名簿

役職名	氏名	所属	備考
理事長	太田 議	長井町漁業協同組合長	新任
専務理事	今井 利為	(公財)神奈川県栽培漁業協会	再任
理事	高橋 征人	神奈川県漁業協同組合連合会長	再任
理事	黒川 忠雄	神奈川県遊漁船業協同組合理事長	再任
理事	武井 正	(公財)相模湾水産振興事業団理事長	再任
理事	久保寺 弘	横浜市漁業協同組合副組合長	新任
理事	大井 哲雄	みうら漁業協同組合副組合長	新任
理事	葉山 一郎	藤沢市漁業協同組合長	再任
理事	徳江 好春	二宮町漁業協同組合長	新任
監事	船澤 良二	神奈川県看護連盟事務局長	再任
監事	関沢 孝	(一財)東京湾南部水産振興事業団専務理事	再任

#### 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会 評議員名簿

氏名	所属	備考
近藤 一文	生麦子安漁業連合組合・釣船富士丸	再任
宮川 吉雄	みうら漁業協同組合理事	再任
岩崎 一郎	横須賀市東部漁業協同組合理事	新任
木村 英雄	茅ヶ崎市漁業協同組合・釣船沖右工門丸	再任
久保田 源太郎	小田原市漁業協同組合副組合長	新任
鈴木 良司	(一財)東京湾南部水産振興事業団副理事長	新任
高見澤 佑介	(一社)全日本釣り団体協議会	再任

湾地区、横須賀地区、三浦地区、横浜地区の各地から、また、各水産関係団体の推薦で、六月十六日の評議員会で理事と監事が選任され、六月十七日の理事会で理事長と専務理事を互選しました。また、それぞれの地区から栽培漁業推進協議会の委員も推薦があり、理事会で承認されました。今後、沿岸漁業の資源を安定的に維持するため、

役員一同、栽培漁業の発展に貢献するよう努力いたしますので、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

28年度種苗生産・供給表

\*養殖用種苗

事業名	種苗名(サイズ)	28年度(計画)	27年度(実績)
種苗生産	アワビ(5mm)	30,000個	30,000個
	”(25mm)	200,000個	232,000個
	”(30mm)	50,000個	33,900個
	サザエ(20mm)	250,000個	363,350個
	トコブシ(15mm)	35,000個	47,600個
	*トコブシ(大型)	10,000個	13,800個
	マダイ(70mm)	350,000尾	383,300尾
	クロダイ(60mm)	70,000尾	79,500尾
	カサゴ(60mm)	0尾	11,000尾
	マコガレイ(20mm)	28,000尾	0尾
種苗供給	マコガレイ(40mm)	25,000尾	25,000尾
	ヒラメ(60mm)	200,000尾	213,329尾
	*ヒラメ(大型)	2,000尾	1,000尾
	メバル(60mm)	20,000尾	30,500尾
	カサゴ(60mm)	170,000尾	170,800尾
	トラフグ(50mm)	20,000尾	16,500尾
	カワハギ(50mm)	22,000尾	0尾



マダイ種苗沖出し準備 放流場所 東京湾域二万尾、三浦半島西岸域二万尾、西湘域二万尾、普及啓発事業

事業の内容 放流尾数 三十万 (全長六十センチ) ①マダイ種苗放流事業 放流場所 東京湾域 種苗生産尾数 七十万 十万尾、三浦半島西岸域 (全長二十センチ) 十万尾、西湘域十万尾 ②ヒラメ種苗放流事業 放流尾数 六万尾 (全長六十センチ) 放流場所 東京湾域二万尾、三浦半島西岸域二万尾、西湘域二万尾、普及啓発事業

アワビ・サザエ・トコブシなど供給

二十八年度事業内容

「栽培ニュース(二回) 二千五百部、年二回)を 作成し県内の漁業協同組 合、水産団体、遊漁団体 教育及び公共機関などへ 配布し当協会の広報活動 を実施します。

②イベント推進事業 各地で開催される地域イ ベントなどに参加し、漁 業者はもとより広く一般 県民に対して水産資源の 保護、海洋環境の保全を 強く訴え、栽培漁業の普 及啓発を行います。

③調査事業 ④種苗供給事業 県内マダイ遊漁船の中 から川崎市から湯河原町 までのマダイ遊漁船に標 本船調査を実施します。(標本船十二隻)

▽調査事業 ④種苗供給事業 県内マダイ遊漁船の中 から川崎市から湯河原町 までのマダイ遊漁船に標 本船調査を実施します。(標本船十二隻)

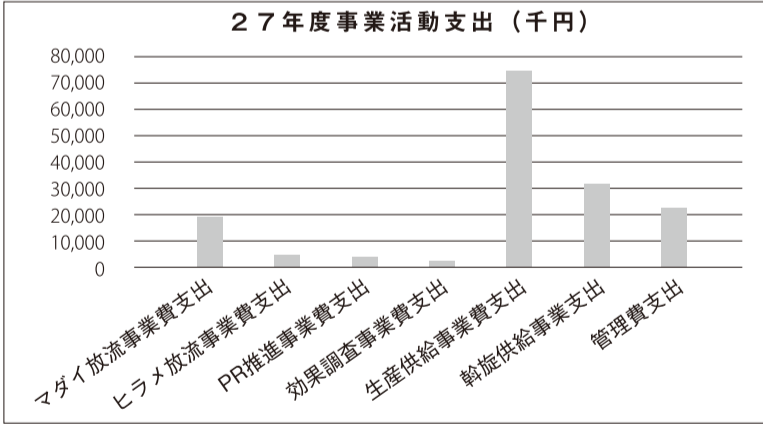
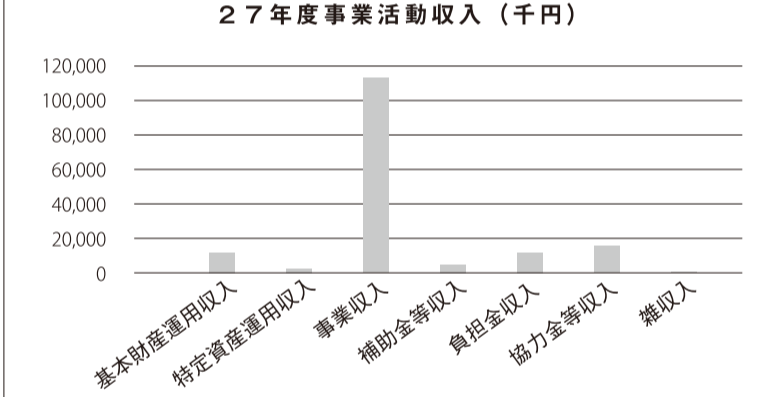


新安浦港で放流

協会の種苗放流事業の 代表はマダイやヒラメで すが、この事業でマコガ レイの種苗放流も行って います。今年五月二十四日に横 須賀市東部漁協の漁業者 の立会いの下で、新安浦 港の岸壁から二千尾の稚 魚を放流しました。マコ ガレイは関係の漁業者に とり資源増大への希望が 強い魚種です。

**マコガレイ 種苗放流**

また、ヒラメ大型種苗 の育成に取り組み、さら にトコブシの大型種苗の 配布も行います。▽斡旋供給 ヒラメ、カサゴ、メバ ル、トラフグなどの種苗 を入手し漁業協同組合を はじめとする水産団体な どへ供給します。



27年度決算収入

科目	決算額(千円)
基本財産運用収入	11,037
特定資産運用収入	699
事業収入	113,121
補助金等収入	3,326
負担金収入	12,088
協力金等収入	15,468
雑収入	145
計	156,528

27年度決算支出

科目	決算額(千円)
マダイ放流事業費支出	20,779
ヒラメ放流事業費支出	4,406
PR推進事業費支出	3,900
効果調査事業費支出	1,871
生産供給事業費支出	74,717
斡旋供給事業費支出	31,536
管理費支出	21,940
計	159,151



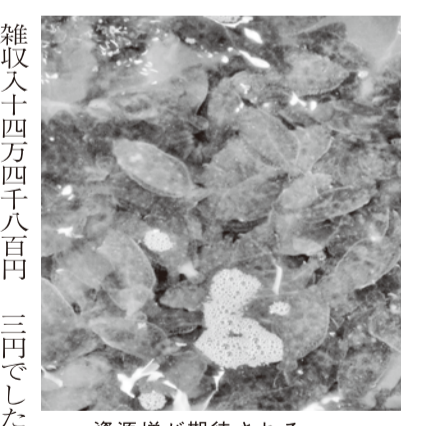
放流船に積み込まれるマダイ種苗

平成二十七年度の決算 その内訳は、基本財産運 資金収支計算書で説明 用収入が、千九百九十九 千二百四十円、特定資産 運用収入が六十九万九千 七十五円、会費収入六十 四万二千円、賛助会費 費収入六十四 万二千円、事 業収入一億一 千三百二十二 万一千五百七 十五円、補助金 等収入三百三 十二万六千四 百円、負担金 収入二千二百 十八万四千四 十円、協力金 等収入千五百 四十六万八千 六百二十六円、

**平成二十七年度収支決算**

事業活動収入は億五千六百万円余りに

平成二十七年度の決算 その内訳は、基本財産運 資金収支計算書で説明 用収入が、千九百九十九 千二百四十円、特定資産 運用収入が六十九万九千 七十五円、会費収入六十 四万二千円、賛助会費 費収入六十四 万二千円、事 業収入一億一 千三百二十二 万一千五百七 十五円、補助金 等収入三百三 十二万六千四 百円、負担金 収入二千二百 十八万四千四 十円、協力金 等収入千五百 四十六万八千 六百二十六円、



資源増期待される放流用種苗

課は「海を舞台に、 第一産業で働い てみませんか」を テーマに、六月十 一日に「かながわ で漁師になろう」 セミナーを開催し ました。漁業に興味のある人、 興味はないけど進路に悩 んでいる人、海を舞台に 仕事をしてみたい人を対 象にした漁業就業セミナー です。女性も含め定員 の五十人を超すが事前 申込を行い、当日の飛び 入り参加者も七人いるな ど関心が高いことをうか がわせました。昨年十一 月には「漁業就業マツチング会」を開催しました。新規従事者を求める十一 の漁協・漁業会社などが 参加、漁業就業を希望す る五十八人が求場してマ ツチングしました。その 後、複数の参加者が漁業 に従事することになった そうです。県の漁業就業 者数は、一九六三年には 九千九百五十七人いまし た。ところが二〇一三年 には二千二百七十三人へ と激減しました。しかも このうちの四割は六十五 歳以上と、高齢化が進ん でいます。このため、県 下は若くは新規従事者を 確保することが急務となっ ています。そこで県は昨 年度、「漁業就業支援事 業」を立ち上げ、セミナー やマツチング会の開催、 漁業体験・就業研修に取 り組んでいます。

**潮騒**

神奈川水産 課は「海を舞台に、 第一産業で働い てみませんか」を テーマに、六月十 一日に「かながわ で漁師になろう」 セミナーを開催し ました。漁業に興味のある人、 興味はないけど進路に悩 んでいる人、海を舞台に 仕事をしてみたい人を対 象にした漁業就業セミナー です。女性も含め定員 の五十人を超すが事前 申込を行い、当日の飛び 入り参加者も七人いるな ど関心が高いことをうか がわせました。昨年十一 月には「漁業就業マツチング会」を開催しました。新規従事者を求める十一 の漁協・漁業会社などが 参加、漁業就業を希望す る五十八人が求場してマ ツチングしました。その 後、複数の参加者が漁業 に従事することになった そうです。県の漁業就業 者数は、一九六三年には 九千九百五十七人いまし た。ところが二〇一三年 には二千二百七十三人へ と激減しました。しかも このうちの四割は六十五 歳以上と、高齢化が進ん でいます。このため、県 下は若くは新規従事者を 確保することが急務となっ ています。そこで県は昨 年度、「漁業就業支援事 業」を立ち上げ、セミナー やマツチング会の開催、 漁業体験・就業研修に取 り組んでいます。

### 神奈川水産課二十八年予算・事業説明会

## 種苗放流量増加漁協などの支援も

神奈川水産課は、平成二十八年度主要施策・当初予算説明会を開催しました。県職員も含め系統団体幹部、市町の担当職員など百名を越す人が参加しました。県は、漁協経営基盤を強化するため、漁獲量増大につながる種苗放流量を増加させる

説明をいたしました。二十八年度は前年度に引き続き、同事業により漁協再編による経営の改善・強化に取り組むこととし、漁協合併するための経営体力を強化する基幹事業や種苗放流量を増加する漁協などに対し補助することにしています。また、二十八年度の新規事業として漁業者などが自主的に行う漁場保全活動を支援する「漁場環境保全活動支援事業」を始



28年度予算・事業説明会

めます。このほか新規事業として、ロボットなどの先端技術を活用して漁業の省エネルギーや省力化を推進する「漁業活性化促進事業」、貧酸素水塊の発生を予測する「東京湾貧酸素水塊対策研究」などに取り組みます。継続事業では、殻高二十センチのサザエ種苗を生産し六十三万個を配布する予定の「種苗量産技術開発事業」、資源が悪化しているシヤコやアワビ、東京湾の重要な漁獲対象魚であるマアナゴ、ナマコの資源管理推進のための調査・研究を行う「水産資源培養管理推進対策事業」などを実施することとしています。

## 漁業業務に精励したとして 原田昭一さん、黄綬褒章受章



祝賀会で、原田さんご夫妻

横須賀市・長井町漁協で刺網や海産稚アユの漁獲、ワカメ養殖、かつてはノリ養殖も行っていた原田昭一さんが、漁業生

産に長年従事し、漁協運動などでも功績があったとして、二十八年春の黄綬褒章を受章しました。原田さんは、家業の漁業に従事し、収入が安定しない状況の中にあつてノリの養殖(今ではノリが採れなくなつたそうです)、刺網漁業、河川放流用種苗の海産稚アユの漁獲、そして冬季はワカメの養殖を行うなど、多角

的な漁業で収入安定を目指してきました。そして漁協役員や当協会の評議員などとして県下の漁業振興を支え、若い漁業者の育成にも尽力してきました。その功績が認められ、全国漁業協同組合から漁協運動功労者として、また、五年前には県民功労賞を受賞しています。



来場者が多かった一般公開

## 中央水研横須賀庁舎 一般公開

横須賀市長井町・荒崎にある水産研究・教育機構中央水産研究所横須賀

庁舎は六月十二日、一般公開を行いました。親子連れなどが訪れ、展示された貴重な生物を見て触れて、楽しい一日を過ごしていました。同庁舎が行っている調査研究内容を一般の人たちに紹介し、海の動植物に興味を持ってもらえれば、と毎年開催しているもので、ヒトデやナマコに触ることが出来るタッチプールでは子どもたちが歓声を上げていました。

また、カニ釣りコーナーも子どもたちに大人気でした。さらに、シラスウナギの標本が展示され、水槽の中を泳ぎ廻るニホンウナギの稚魚に見入る大人もおり、中には「この稚魚が蒲焼きで食べることができるようになるには何年ぐらいかかりますか」と質問する女性がいきました。また、同庁舎が調査で発見し命名された「アラサキガンガゼ」にも関心が集まっています。

## 日本釣振興会神奈川支部

# 育てよう豊かな釣り場

## 5000尾のヒラメ「稚魚放流」



荒崎・なんやの浜では子どもたちが

(公財)日本釣振興会神奈川支部は六月十二日、横須賀市長井町地先の海に合計五千尾のヒラメ種苗を放流しました。当協会が購入し、同支部に供給したヒラメ種苗です。同支部が長井地先の海を豊かにしようと毎年放



井尻漁港で漁業者が

流を続けているもので、井尻漁港岸壁で午前九時から長井町漁協の漁業者が四千尾を放流しました。ヒラメ

で三十センチ、二年で四十センチに育つだけに漁業者は種苗放流に大きな期待を寄せています。なおこの日は、地域振興を目指して活動している「地域の未来を考える会」が「荒崎海岸クリーンフェスタ2016」を行い、海岸清掃後、参加者はヒラメ稚魚を放流しました。協会の今井利為専務が「今日のヒラメの稚魚は全長が六センチ以上と大きく、成長も早いことが期待できます」と説明し、子どもたちが手渡りして受け取ったバケツに入った合計千尾の稚魚を放流しました。

## さいばい漁業つて何 ②0

### トコブシの栽培漁業

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会 専務理事 今井利為

### トコブシとアワビの違い

トコブシとアワビの違いが分かりますか。

### サザエの栽培漁業

仮に回収率三十パーセントとするとサザエの種苗単価は六十六円となります。

### サザエの漁獲物単価は

近年、一キログラム当たり四百円から千円の間を推移しています。サザエの一個当たりの重量は七十グラムから百二十グラムです。百グラムとすると一個当たり四十円から百円となります。

### したがって、六百六十円以上の漁獲物単価でない

と、種苗放流費は賄えない勘定となります。

### このことから、漁獲物単価の低い時期の漁獲は

栽培漁業の収支計算では赤字となりますので、出荷時期の調整が必要となります。

### 文献

岡部三雄・桑原昭彦・西村元延・葦矢護・サザエの増殖・水産増殖叢書⑥・日本水産資源保護協会(2006)

### 神奈川水産試験場・平成元年度から平成八年度

地域特産種増殖技術開発事業・巻貝グループ報告書

### (「サザエの栽培漁業」は終わりです)

トコブシは年輪に拘らず、漁獲できるので、漁業協同組合の放流事業として、アワビと比較すると、受益者が広いため、資源を分配するうえで公平感があります。

### しかし、その反面、誰でも獲りやすいことから

密漁に遭い易い種類とも言えます。



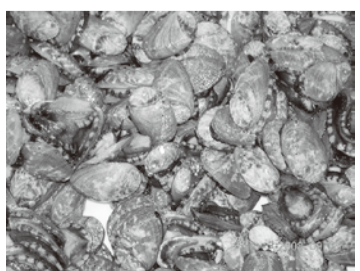
トコブシにはフクトコブシと呼ばれる種類とトコブシの二種類があります。フクトコブシは東京都大島や鹿児島県奄美諸島、沖縄諸島の黒潮の本流域に分布し、トコブシは北海道から九州の沿岸水深十メートル以浅に分布し、大潮の時に磯で転石の下などで見つけることができます。

### トコブシの生態

トコブシの産卵期は、神奈川では、七月〜八月です。アワビの産卵期が秋であるのに対して夏至の後に産卵を迎えます。産卵主群は殻長四十ミリメートル以上の満二歳以上です。

種苗生産技術はアワビ種苗生産とほぼ同じ工程をとります。

天然のトコブシは茶褐色をしています。人工種苗は、殻が濃い青色をしています。もし、スーパーなどでトコブシをお買い求め、殻の色が青色をしていましたら、その貝は人工生産したものとと言えます。



受精後、一日でトロコブシとなり浮遊生活をします。その場所は、無節石灰藻で被われた石の表面に定着します。

(つづく)



# 朝市・直販所めぐり シリーズ③

## 漁師らによる葉山ブランドのサザエなど直販

### 葉山真名瀬朝市

「真名瀬の漁師らによる旬の葉山魚介類の直販」と銘打ち毎月第二土曜日に葉山・真名瀬漁港の町営駐車場隣で行われているのが「葉山真名瀬朝市」です。

午前八時に販売開始になり十時ほどとなつていますが、近隣の人たちが次々と来場し、心待ちしていた魚介類を購入するのですぐに売り切れてしまうそうです。

六月十一日の朝市では、六月一日にスタートした素潜り漁で漁獲した「葉山ブランドサザエ」八十個の大盛り一皿が千円という安さに、飛ぶように売れ行きでした。

このほかこの日は、アワビ、トコブシ、シッタカなどの貝類、活タコや定置網で獲れたイワシ、



多くの消費者が来場

カマス、ウマズラハギ、シイラ、ヒラメなどの鮮魚、イワシやソウダガツオのミリン干し、メジナの開き、釜揚げヒジキなど手造りの加工品も販売されていきました。

また、獲れたばかりのサザエを炊き込んだ「サザエご飯」は、二つ三つとまとめ買いする人がいるほどの人気でした。

【アクセス】横須賀方面から車だと、葉山御用邸前の葉山海岸線を進み、3分ほどで「葉山町営駐車場」に着き、その奥が朝市会場です。

逗子方面からだとも、国道134号線を「渚橋」で右折、県道207号線を行き、徒歩だと、JR・京急逗子駅から海岸線経由、葉山御用邸行きのバスで20分、芝崎下車、徒歩1分です。

【問い合わせ】桜花丸：畠山さん 070-5071-7089



伊藤さん(右)から寄付

このマダイ釣り大会に参加した人が釣りあげたマダイの重さで月間賞、年間賞を決め、六・六キロのマダイを釣り優勝した東京都大田区の伊藤和彦さんが当協

### マダイ資源増大に役立ててと

### 三浦市・松輪の

### 棒面丸が今年も寄付

三浦市南下浦町松輪の遊漁船・棒面丸(鈴木千春社長)は、昨年の「ラブラブ!マダイ201」に役立てて、と当協会に寄付してくれました。

5棒面丸で積み立てた遊漁者の参加費の一部、十万円をマダイ資源増大に役立てて、と当協会に寄付してくれました。



寄付を受けとる今井専務(左)

今年七十一チームがヨット・モーターボートで参加キス釣りを楽しみました。そして、参加費の一部を当協会に寄付してくれました。また、熊本地震の被災者に

### 参加費の一部を

### 種苗放流に役立てて、と寄付

リビエラリゾートシーボニアマリーナは五月、「キスマスター2016」を開催しました。史上最強の小物釣り大会と銘打ったこの大会に、

も寄付しました。同社の渡邊藤郎副会長は「皆さんのご協力で今年も参加費の一部を神奈川県栽培漁業協会に寄付することができました」と挨拶しました。

また、協会の今井利為専務は「毎年の支援に感謝します。今年も協会はマダイ種苗八十万尾のほかヒラメ、カワハギ、メバル種苗などを放流します」とお礼の言葉を述べました。

同社は春に「キスマスター」秋に「ハギマスター」を行い、その都度、資源増大のために、と参加費の一部を協会に寄付しています

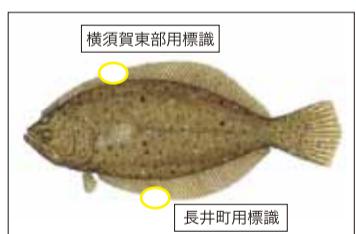


神奈川県では主要施策などの見直しが必要であるとして、「かながわ水産業活性化指針」の改定を行いました。平成三十七年度における海・川の豊かな恵みと潤いを提供する活力ある水産業を目指すために指針を改定したものです。そして、重点的に取り



原田幸二職員

◆新職員紹介◆  
協会は、これまで六年間アルバイトとして協会の業務を支えてきた原田幸二さんを四月一日付けで職員として採用しました。



標識の付いたヒラメ

### ヒラメ稚魚

### 標識放流

### 再捕したら報告をお願いします

太平洋南区栽培漁業推進協議会では、ヒラメの広域資源の造成を行っています。特に、放流した種苗が県を越え成長し移動しているか、未だ、明確に分かっていません。

そこで、今年からヒラメの種苗の鰭を切除して放流し、その後の再捕状況を追跡する予定にしています。

今年度は横須賀市東部漁業協同組合と長井町漁業協同組合にそれぞれ、千匹の鰭を切除した種苗を七月中旬に放流する予定です。

千葉県でも鰭を切除して放流しますが、千葉県の標識は体後部の鰭を切除してあります。また、静岡県では、迷子札を装着して放流します。

標識したヒラメを再捕しましたら一、再捕年月日、二、再捕場所、三、標識の種類とその位置、四再捕者の氏名、住所、電話番号を公益財団法人神奈川県栽培漁業協会にお知らせください。

電話：046-188-2169  
FAX：046-188-1123

編集後記  
組む施策のイメージは、県民の「食」を「海・川・湖」そして「漁師」「漁協」「漁港」が支えることになり。良質な水産物を供給するために水産資源の維持増大、漁場環境の保全が重要です。また、その「食」を提供するためには漁業従業者の確保や漁協に経営力を付けること、生産・流通基盤の強化が必要だと考えています